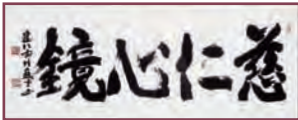




関西医科大学 広報

Kansai Medical University Public Relations



建学の精神

本学は、慈仁心鏡、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

「双龍鳳凰」

タテ15m、ヨコ6m
大阪最大の巨大絵画

昭和12年（1937）、大阪博物館美術館が取り壊されることになり、それを惜しんで天井画は、枚方市牧野の本学（当時の大阪女子高等医学専門学校）の講堂に昭和13年に移設されました。

学生や関係者以外にはほとんど知られることがなく美術研究者の間では幻の天井画となっていました。

明治の大阪で活躍した四条派の日本画家・上田耕冲、櫻井香曇らの作。

23面に関連特集



見上げれば文化財、圧倒される新入生
歴史漂う天井画「龍に鳳凰」

CONTENTS

ヘッドラインニュース		病院	16
教養部天井画	1	医療安全管理センター	18
理事長あいさつ	2	卒後臨床研修センター	18
入学式挙行	3	大学情報センター	19
大学院入学宣誓式挙行	5	附属看護専門学校	20
法人	6	キャンパスニュース	22
大学	10	特集	23
学事	11	お知らせ	24



創刊にあたって

理事長 塚原 勇

本学は、本年6月30日に創立80周年を迎えます。この記念すべき年に新しい広報誌「関西医科大学 広報」を創刊することになりました。この広報誌は、現在、本学がどのような教育・研究・医療の活動を行っているのか、どのような将来展望を持って事業を進めているのかなどについて、学内の教職員が正しい情報を共有し、さらには在校生の保護者及び同窓生をはじめとする本学と関係の深い方々にも知っていただくために発行するものです。

医療をとりまく環境は、厳しさを増すばかりで、本学としましても様々な改革に着手しています。平成19年度決算は、教職員の皆様の努力もあって予想していたより幾分上向き、胸をなでおろしているところですが、混沌とした医療経済のもとで、平成20年度は、本学にとって最も厳しい難関の年になります。このほど、本学の中長期経営ビジョンが策定され、前へ向かって動き始めました。将来への夢、希望の実現のためにも、教職員一丸となることが大事です。

この「関西医科大学 広報」が、大学と各部署および教職員、並びに保護者、同窓生との“架け橋”となり、大学の発展に繋がることを願っています。



教養部図書館前の満開の桜をバックに新入生、学長、教員らが勢揃い

入学式挙行 日本の医学を背負う人間性豊かな良医に

平成20年度本学入学式が、4月4日（金）午後1時から教養部大講堂において挙行されました。山下敏夫学長、塚原 勇理事長はじめ教職員、来賓、保護者らに迎えられた新入生103名が出席、重要無形文化財保存雅楽器技術者・山田全一氏による雅楽器「笙の笛」による祝いの演奏で始まり、学歌斉唱、新入生紹介のあと、学長から告辞がありました。式当日は、牧野キャンパス内の桜が満開、緊張感の中にも希望に満ちた新入生たちの顔であふれていました。

学長告辞

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。本日男子70名、女子33名計103名の皆さんを迎えて、平成20年度の入学式を挙行することができますことは、私たち関西医科大学の教職員にとりまして、まことに大きな喜びであります。ご臨席をいただきました



た大阪医科大学植木 實学長をはじめご来賓各位に厚くお礼を申し上げます。見事に難関を突破されての合格であり、ご本人の努力と、その彼等の勉強と生活の支援を続けてこられたご家族や関係の方々からお祝い申し上げます。

本学は本年、創立80周年を迎えます。この栄えある年に入学される皆様を祝福して、本学の歴史についてまず簡単にお話してみます。本学は昭和3年に濱地藤太郎先生により大阪女子高等医学専門学校として創設されました。戦後の昭和22年に同専門学校は大阪女子医科大学に昇格し、さらに昭和29年に男女共学制を採用し、校名を変

更し、関西医科大学となりました。昭和35年には教養部ができ、6年制の医科大学となり、今日に至っております。

この80年という本学の長い歴史の一端を示すものを紹介したいと思います。皆さん、天井を見上げてください。空から巨大なドラゴンが迫り、周囲を鳳凰が舞う。縦15メートル、横6メートルの長円に極彩色で描かれた天井画「双龍鳳凰」です。その迫力に圧倒されたのではと思います。この画は明治21年に大阪画壇屈指の上田耕冲らの実力者たちが集結して描いたもので、この講堂が建った昭和13年に府立大阪博物場から移築され、今や大阪の文化財の1つとなっています。

さて皆さんは本日の入学式を迎えて、医師になるためのまさに第一歩を踏み出されたこととなります。喜びとともに、これからの本学で始まる学生生活への大きな期待と、そして少しは不安を抱いておられることと思います。そこで皆さんの母校となる関西医科大学はどういう大学か、その歴史はすでに述べましたが、現状と近い将来像についてお話ししてみます。

まず現況ですが、本学は2年前に念願の新しい附属病院である枚方病院を京阪枚方市駅前に開院いたしました。この病院は施設、医療設備ともに日本有数の病院と自負で

きるものです。その結果、現在の本学の施設の体制は、ここ牧野に教養部が、京阪滝井駅前に大学本部、滝井キャンパス、滝井病院が、京阪樟葉駅近くに男山病院が、そして枚方病院と京阪沿線に点在しています。以上がハード面といえる施設の現況です。

一方、ソフト面では本学の教育は、6年一貫教育に基づく極めて高度で、最新の教育システムを採用しています。また研究面に関しては、以前から文部科学省の研究費等も多くいただき、活発だとの評価を受けておりましたが、5年前にCOE、即ち世界的研究拠点の1つとして選定を受けて以来、「研究の関西医大」の名は定着したのではと思います。臨床は大阪の北東部の医療を着実にリードしてきましたが、高度医療機器を揃えた枚方病院の開院でさらにトップレベルの医療が行えるようになりました。本学はこの様に教育、研究、臨床で大変頑張っています。皆さんは本日から関西医大生です。どうぞ関西医大生であることに自信を持ってください。

近い将来のことにも少し触れておきます。京阪香里園駅の真前に新しく香里病院を建て、2年後には開院を予定しています。さらに枚方病院の横に大学本部や全てのキャンパスを統合した新しい学舎を建設し、4～5年後には完成させたいと考えています。確約はできませんが、皆さんの学生生活の後半、5、6年の時には新学舎で学べるのではないかと思います。

次に皆さんがこれから、どこで、どの様に教育を受けるかについて、その概略と、持つべき心構えについて述べてみます。入学後最初の1年はここ牧野の地で医学生として、社会人として基本的な教養を身につけるとともに、専門教育を受けるための十分な基礎学力をつける教養教育を受けます。また医師に必要な人間性を養うために早期医学・医療体験実習も行います。2学年からは今度は滝井キャンパスで、いよいよ医学の勉強が始まり、解剖実習などの実習中心の体系的基礎社会医学教育を3学年の途中まで続けます。3学年から4学年にかけての臨床医学教育では、小グループでの問題解決型のチュートリアル教育と臓器別系統別講義があります。4学年の終りには全国共用試験(CBT)や客観的臨床能力試験(OSCE)でそれまでの知識を評価され、これをパスして初めて臨床実習に参加する資格を有することになります。5学年からいよいよ臨床実習でこれは主として枚方病院と一部滝井病院で6学年前半まで行われます。患者さんと直接接して、許される範囲での医療行為も行いながら学ぶいわゆるクリニカルクラークシップです。6学年の後半は6年間の総まとめと卒業試験、そして最後に医師国家試験に合格し、医師免許証を取得することになります。卒業後も4年前から初期臨床研修が義務化され、大学病院や市中の病院でさらにもう2年間の臨床研修を行うことになります。即ち、今から皆さんはこの様なスケジュールで実質的には8年間は医学の勉強をすることになるわけです。どうぞ頑張ってください。

この入学を機に、皆さんに是非とも言うておきたいことが

3点あります。まず第一に皆さんのこれまでの勉強方法を大きく変えてください。おそらく高校では与えられた知識を吸収するという受身の勉強、即ち暗記力中心であったかと思いますが。これから学ぶ医学知識の量は膨大で、丸暗記では、とてもやっていけません。また皆さんがこれから医療の第一線で働く時に求められるものは、患者さんを前にしての咄嗟の判断力や、生命そのものに関わる倫理観等です。与えられた知識を良く理解し、整理し、さらに自分で問題点を見つけ、自分で考えるという自学自習の習慣、さらには知識を使いこなす知恵を学んでください。



コーラス部員と校歌を斉唱する新入生

第二は医師は十分な体力とコミュニケーション能力が必要です。それらを獲得するために是非クラブ活動をしてください。そして多くの友人と素晴らしい人間関係を築いてください。とても大切なことです。

皆さんはどうしてこの厳しい医学の世界に入ろうと思われたのでしょうか。おそらくは「病気で悩んでいる人を1人でも救いたい」という気持ちではないでしょうか。そのためにはある程度の自己犠牲は覚悟されていると思います。

第三は、この初心を忘れないでほしいということです。

皆さんはご存知と思いますが、現在の日本の医療界では医師不足が大変問題になっています。これは実は医師の総数が不足しているという問題以上に、産科、小児科、救急科といったいわゆる仕事が厳しいところ、さらには僻地を含むいわゆる地方で働くことを医学生が敬遠することが大きな原因となっています。どうぞ皆さんは自分のQOLのみを考えないで、患者さんのために働くという医師としての高い志を、即ち初心を忘れないでほしいと思います。皆さん、右前上の額を見てください。本学の建学の精神である「慈仁心鏡」が記されています。「慈仁心鏡」即ち、慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成するという意味です。それに則って皆さんには人間性豊かな良医に育ってほしいと思います。

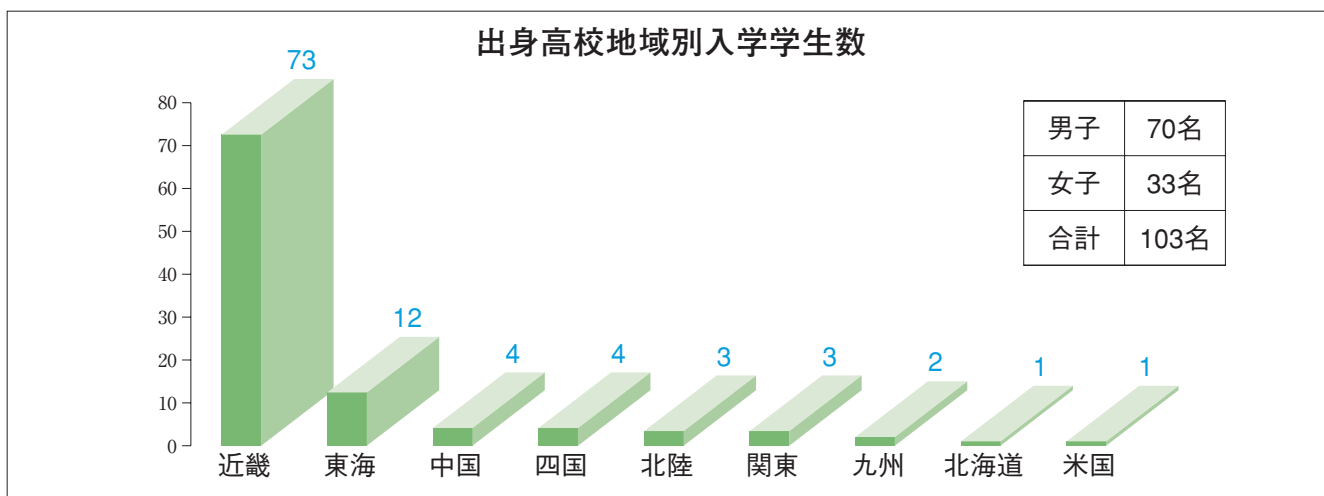
私は関西医科大学はバランスのとれた大変良い大学だと思っております。したがって皆さんは本当に良い大学に入ったと先輩の1人としても自信を持って言えます。選ばれた皆さんは関西医大を、そして日本の医学を背負ってくれるものと信じます。皆さんを熱烈に歓迎し、ご活躍を期待しています。

平成20年度 医学部・新入生

インターネット上での氏名公開は控えさせていただきます

平成20年度入学者の地域別構成人数

平成20年度新入生は、男子70名、女子33名で、合計103名です。出身高校地域別入学学生数をグラフにしてみました。



大学院入学宣誓式を挙

平成20年度本学大学院入学宣誓式が、4月7日(月)午後3時から専門部学舎大会議室において挙

行されました。
本年度入学者は、以下の26名(男子



新入生を代表して宣誓する菅野さん

外国人特別学生

法 人



関西医科大学の未来計画 “アクション2015” “ジャンプ2020”

常務理事 徳永 力雄

「関西医科大学 広報」の創刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

ご承知のように本学は、附属枚方病院の開院を機に、未来に向かって新しい一歩を踏み出しました。この一歩は、長年の努力と願望に支えられて実現した歓喜の一歩です。

私自身の本学での30年の体験や先輩のお話・記録からみても、関西医大80年の歴史の中で、施設整備を含む法人の経営は、一時たりとも安寧な時代はありませんでした。しかし、建学時の苦難と教育・研究・診療に対するあくなき向上心をばねに、それぞれの時代の教職員と同窓会など関係者の相互努力で大学の拡大と発展を築いてきました。今は3度目の大きな艱難辛苦の時だといわれていますが、あと少しの努力で内実も外観も日本を代表する医科大学になりうると信じています。

平成17年度は、日本でも前例がない4病院の再編成（附属枚方病院建設・開院準備、附属滝井病院縮小、附属香里病院廃院、附属洛西ニュータウン病院譲渡）を完遂させました。これは多分、周辺の大学や病院の関係者を感嘆させたに違いありません。これらを成し得たのも、全学の皆様がそれぞれの持ち場で最大限の努力と協力をした結果であることはいうまでもありません。

一方において、この数年は教職員の皆様に忍耐と協力をお願いしてきました。喫緊の課題が経常財政の安定化であったからです。そのために、賞与の削減、手当の見直し、企業年金制度の廃止などの痛みを分かち合ってくださいました。この状況の中で、3病院はじめ各部署の経営努力と、18年度・19年度の収支改善実行タスクフォース及び19年度の外部コンサルタントによる側面支援で、経常収支差額は赤字ながらも着実に改善することができました。この勢いで20年度の予算達成（約8億円の黒字目標）に向けて邁進していただきたいと思えます。

折りしも本年3月に、関西医科大学のこれからの発展をめざして、塚原理事長と山下学長が中心となって「中長期経営ビジョン」を策定しました。

まず、“ジャンプ2020 飛躍する関西医大”を掲げました。これは、およそ10年後の達成を目指した長期経営ビジョンで、「関西医科大学は、医学教育・看護学教育並びに医学研究の優れた推進拠点となり、大阪北東部を基盤に高度・良質の医療を提供する。すなわち、1.財政基盤の安定化、2.医学及び看護学の教育体制の改革と優れた人材の育成、3.世界へ向けた研究成果の発信、4.安全で患者本位の最良の医療の提供、5.教職員が満足できる職場、を実現する」ことです。

この“ジャンプ2020”に向かって、これから5、6年先の中期の目標を、“アクション2015 行動する関西医大”のキャッチフレーズで、教育・研究、医療事業、施設整備、財政、人材育成・人事給与制度、管理・運営の6領域について、具体的な行動目標を示しました。簡潔に記しますと、枚方に学舎・大学院・看護学校を集約し、教育・研究・医療事業を改革発展させ、学学連携を推進し、病病・病診連携と地域医療体制を充実し、人材育成を強化するということです。当然、財政を安定化し、大学・法人の運営を効率化・迅速化するのが大前提です。

絵に描いた餅ではなく、何時いつまでに実現しましょう、という事業目標です。もちろん相当な努力が必要で中には遅延する課題もあるかもしれませんが、全学共通の目標として、その実現に取り組んでいただきたいと切望しています。

“アクション2015”も“ジャンプ2020”も、今後さらに各部署や会議体で検討して、より具体的な推進策を順次発表していく計画です。どうぞ期待して、それぞれの部署での活動に参画されるようお願いいたします。

最後に、今般の新しい「広報」や「学報」の発刊が、関西医科大学とそれを支えている関係者の間で、共通の社会的使命に向けて相互の連携を深めていく絆になることを願っております。

法人

退 任 の 挨拶



充実した素晴らしい日々

前外科学講座教授 上山 泰男

関西医科大学の皆様、お元気で
ご活躍のことと拝察いたします。本
年3月31日に定年退職となりました。

16年3ヶ月間の長期間お世話にな
り、誠にありがとうございました。充実した素晴らしい日々で
した。

関西医科大学附属病院の診療では、外科の皆様と一
緒に、主として消化器外科を担当させていただきました。院外、院内より患者様をご紹介いただき、多数の手術をさせてい
ただきました。ご紹介いただいた地域の医師会の先生方、関西医科大学の他科の皆様、麻酔科、放射線科、中
検検査部、病理部、輸血部、薬剤部の方々、看護師や放射線科の技師の皆様、事務局の方々のご指導、ご援助
により、癌の外科的治療に携わることができました。関西医科大学倫理委員会など、皆様のご指導、ご援助、京都大
学移植免疫学教室の田中紘一名誉教授、上本教授はじめ多数の先生方の無私のご助力により生体肝移植が可能
となりました。今、あらためて、関西医科大学全体の底力に感動しております。

基礎的研究におきましては、病理学教室、医化学教室
はじめ多くの教室の皆様にお教えいただき、常に学問のき

びしさ、素晴らしさを、そして時には喜びを分けていただく
ことができました。国際的なハイレベルの研究をされている方々
がやさしく外科学教室を見守ってくださいました。

私にとって関西医科大学は、多くのおいしい果実がす
ずなりになっている果樹園でした。手に入れて自分のもの
にしたかった果物があふれておりました。今、関西医科大
学を離れてみますと、とても素晴らしい人々、物に自分が囲
まれていたのがよく理解できます。関西医科大学の皆様
の一人一人にお会いして、御礼を申し上げることがで
きませんでしたが、この紙上をお借りして厚く御礼申し上げ
ます。ありがとうございました。

私は、現在、医療法人徳洲会の顧問として高砂西部病
院で仕事を始めております。関西医科大学で皆様よりいた
だいた力と情熱を次の人生の糧と致しまして、新しい場所
で動き始めました。現在の場を得ることができましたのも、
皆様のおかげです。ありがとうございました。勝手ではござい
ますが、これからもどうか、ご指導、ご援助の程をよろしくお
願い致します。

最後になりましたが、皆様、お一人お一人に平安の日々
が続きますことを心よりお祈り申し上げます。



忙しくも楽しかった関西医大

前眼科学講座教授 松村 美代

3月末で関西医大を退職させてい
ただきます。皆様大変お世話になり
ましてありがとうございました。

医科大学の使命は診療・教育・研
究ですが、私のような者にすべてを完璧にこなすことはそも
そも無理です。臨床科では良い医者も多く育てることが最
も重要な使命だと思っていましたので、診療と教育(この2
つは一体)は身をもって姿勢を示し、研究はやる気を起さ
せ環境整備に徹することにしました。臨床はトップが現場
にいてモデルになっているべきだというのは元々私の信念
であり、現場で背中を見せられなくなったらその時が限界と
考えていました。教授の立場が長くなってくると、内外から
診療・教育以外の仕事が増え、仕事の種類が多様多様
になり、若者と共有できる時間が不足してきました。現場以外
の仕事も非常に重要ではありますが、臨床教室のトップとし
て彼らに見せられる背中であるかという点を考えました。在
任9年近くなりそろそろ新たな指導者に交代してもらおう方が
さらなる活性化につながるでしょう。

医学の勉強や訓練の基本は普遍的であるべきで、指導
者によって原則が変わるというようなものではないはずです。
それに沿って教室のシステムを作り変えてきたつもりで
すが、思いや計画はあっても、十分にできなかったこと、反

省することはたくさんあります。次の世代が、原則は原則と
して改革・発展させてくれることを信じます。

本来医療や教育は余裕をもってやるべきものだと思います
が、マンパワーにお金をかけない日本では、無理を承知
の体制です。疲弊しないためにはわりきるべきところをわり
きり、1分でも時間を効率化する必要があると思います。研
究成果(インパクトファクターに代表される???)のための会
議と、学生・教務・大学運営上の各種会議、病院収益のた
めの会議、これらはどれも重要ですが、すべてにかかわる
立場の人は、時間やエネルギーをどう投入するか、二律背
反のような面もあります。多数の同じメンバーが三面に文
字通り身を割いて時間を使うのは非能率に思います。思
い切った現実的な工夫が必要なのではないでしょうか(退
職する者が言うのもなんですが)。

大学に勤務する魅力は日々若い人達といっしょに働き討
論できることです。大学での診療・教育・研究の仕事に携
われたことは楽しい経験でした。多忙で睡眠を削りに削
った日々ではありましたが、若者が知的、技術的、人間的に成
長するのを実感すること、いろいろな職種の人とチームワ
ークよく働いていると実感することがエネルギーになりました。
その時その時多くの人に支えていただきましたこと、おひと
りおひとりに心から感謝申し上げます。

法 人



誠意尽くすも及ばぬ思い

前大学事務局長 山崎 紘

関西医科大学に入職したのは昭和38年3月1日。以来本年3月末退職まで実に45年間、関西医科大学という温室の中で勤務してまいりました。この間わたり歩いた部門は、滝井地区に限定しておりますが、15部門。一部門平均3年ということになりますが、最長は人事課と秘書課で各8年勤めておりますので、この勤務歴16年を除きますと1ポスト平均2年ということになります。

振り返って、関西医科大学の発展を物語る指標に施設整備をあげるとすると、私の在職期間はまさに関西医科大学の揺籃期から成熟期。目を見張る勢いで施設の新設整備が全学全部署で展開されました。本学に工事事務所が存在しない年度はなかったと言っても過言ではない発展が認められます。平成20年度の法人経営中期事業計画では、重い荷物を背負うこととなりますがまだまだ施設整備が計画されております。偏見や予断なく着実な進捗が期待されます。

このような中、思い返すことにきりはありませんが、労働組合のストライキ決行や、講座の新設分割、コンピューターのバロースからファコムへの切り替え、広報誌「三角点」の発行、新入職員合宿研修などはしんどい仕事でした。また、附属病院の滝井地区での建替えの見直し提案は責任を感じました。臨床研修医過労死事故では大阪地方検察庁に送検され、危うく犯罪者の汚名を着るところでした。そのほか、院外処方導入による収入予算の見込み違いや、医師のエクス線被爆事故、取引業者への未払金発生などの事案では、それぞれ理事長から嚴重注意処分をうけました。

いろいろ多くのヘマをしました。極めつけは、大変申し訳ないことをしたと反省しておりますが、後進の指導に意を尽くす努力がいま一步足らなかったことです。事務職員の専門性の向上と、大学経営、病院経営における事務組織の重要性と必要性の認識の周知に努力が至りませんでした。

誠意をもって事に当たってきたつもりですが、多くのご迷惑をおかけしたことと思います。お許しください。

少子高齢化と、医療のIT化、医療安全や説明責任の普遍化により医師をはじめ看護師等医療現場は学生も含めて多忙をきわめております。医科大学の経営管理、組織管理にも改革が求められます。みなさまにはご苦勞が絶えないと思いますが、益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

募金室を開設

大学事務局に募金室が設置されました。今後は募金室が窓口となって、募金活動を積極的に展開する予定です。

なお、募金事務は引き続き財務部資金課が担当します。

寄付金

平成20年度施設設備整備拡充事業資金へご寄付いただきました方々のご芳名を掲載して感謝の意を表します。(平成20年4月分)

岩田 啓史様	杉田 雅彦様	二宮 謙一様
大石 泰男様	杉山 千寿子様	速水 久嗣様
可世木 博様	田中 伸顯様	
菊池 毅様	中井 丈夫様	(50音順)

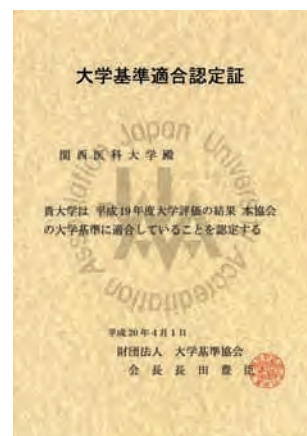


大学基準適合認定証受ける

本学は、3月に(財)大学基準協会の大学基準に適合していると認定され、「大学基準適合認定証」=写真=を受けました。認定の期間は、2015(平成27)年3月31日までの7年間です。

認定までの手順は次のとおりです。

2007年 1月29日	大学評価申請書の提出
4月上旬	大学評価関連資料の提出
10月30日	本部(滝井キャンパス)・附属枚方病院実地視察
11月14日	財務評価分科会によるヒアリング
12月下旬	評価結果(委員会案)受理
2008年 3月11日	大学基準協会にて評価結果(最終案)承認
3月24日	公表



法人

就 任 の 挨 拶



附属男山病院長に就任して

附属男山病院長 新宮 興

本年3月をもって定年退職された豊 紘病院長の後任として、4月から私が附属男山病院長に就任しました。

附属男山病院は昭和50年に132床で開院し、その後昭和55年に162床、

昭和62年に212床と増床して現在に至っています。病院長は開院当初の初代水野潤二病院長から、二代目塩田登志也病院長、豊 紘病院長職務代行、三代目染田邦幸病院長、四代目豊 紘病院長を経て私が五代目病院長となります。附属男山病院の創立20周年記念誌「いづみ」に当時の染田邦幸病院長が増築、増床に関わる苦労と共に将来を見据えた病院機能の拡充への躍動感溢れる思いを記載しておられます。これらの歴代病院長をはじめとする職員の貢献により附属男山病院は地域に根差した中核病院として信頼を得て現在に至っています。病院のモットーを「来てよかった病院」とされたのも、現在では当然と思われる患者本位の病院であることを他病院に先駆けて目指していたことの表れです。現在の関西医科大学附属3病院の中では212床と、最も小規模であり、職員同士のコミュニケーションがよく取れている病院でもあります。このコミュニケーションの良さを端的に表しているのは初期研修医の研修後感想です。平成16年から新初期研修制度が施行され、医師は医師免許取得後2年間いずれの医局にも属せずに各種診療科をローテーションすることとなりましたが、大学病院は専門診療科の集まりであり、プライマリケアを主体とする一般病院へ研修医が流れているのが現状です。

その中であって、附属男山病院で研修した研修医はそれぞれの診療科を研修中であっても担当患者の診療に関する指導を全ての診療科の指導医から受けることができよかったと感想を述べています。今後も患者を中心に職員が心を合わせて診療、看護、介護ができる病院であることに誇りを持っていきたいと思えます。

他方、大学の立場から附属男山病院を見ますと、平成18年の附属病院再編を経て、現在大学の中長期計画が練られています。平成18年に、附属病院の縮小・附属滝井病院への名称変更、附属香里病院の閉院、附属洛西ニュータウン病院の委譲、特定機能病院・第一附属病院である枚方病院の開院と大きな再編を実施しました。今後、平成22年には新たな関西医科大学香里病院の開院が控えていますし、平成24年以降には専門部・教養部・看護専門学校の枚方キャンパスへの移転も計画されています。この第二弾ともいべき大学の中長期計画の中で、附属男山病院がどのような役割を果たすべきか未だ明確にはなっていません。早急な将来像計画の公開が必要となっています。

私個人は平成5年に麻酔科学講座主任教授となって関西医科大学に赴任して以来、看護専門学部長、附属病院長を経て、現在は医療・看護担当理事を兼ねています。病院経営推進室長、大学各附属病院間の調整を担当する病院関連検討会議（6人委員会）、香里病院基本構想検討会議の責任者でもあります。大学理事の立場から各附属病院の特徴と役割を見据えながら附属男山病院のさらなる発展に少しでも貢献できればと考えています。



外科学講座教授としての抱負

外科学講座教授 権 雅憲

平成20年4月1日付で外科学講座教授に就任いたしました権（こん）雅憲でございます。肝胆膵外科と腹腔鏡外科を専攻しております。高齢化

社会の到来と医学をとりまく社会環境の変化により、「低侵襲」が外科においても重要な課題となっております。腹腔鏡下手術はこれらの要請に即応すべく導入された手技であり、機器の向上に伴い、今後の更なる発展が期待されることから、手技をさらに研鑽し、新たな分野を開拓していきたいと考えております。また、近年のRandomized Controlled Trialを用いた臨床研究や分子生物学的な解析は、拡大手術の意義を否定するものが多いですが、拡大手術により予後の向上が期待できる肝門部胆管癌などには、積極的に安全な拡大手術と術後補助療法を行い予後の向上に寄与したいと考えております。さらに、根治術が不可能の消化器癌に対しては、高度な専門知識を有する各診療科の高度な医療技術を結集した治療体制を構築し、先端的かつ集学的な治療を提供するとともに緩和医療にも柔軟に対応し、大学病院に対す

る社会要求に応えていきたいと思っております。

平成16年4月からスタートした新医師臨床研修制度の実施が従来の病院や診療科の様相を一変させました。それは臨床研修病院の中でも、「勝ち組」と「負け組」に二極化するという「病院間格差」、さらには体力的にも厳しいとされる診療科を敬遠する「診療科間格差」を生み出しました。婦人科や麻酔科と同様に、外科志望者が減少し、外科医の職場が3K（きつい、きたない、危険）状態の悪循環に陥っていることから、外科医療の衰退、ひいてはわが国医療全体の崩壊さえ懸念されます。外科医のアイデンティティーを高め、医学生を魅了するための戦略として、専門医取得カリキュラムの充実とプロセスの明示、経済的配慮を通じて、専門医標榜等による将来的なメリットを伝え、外科志望者にとっても魅力あるインセンティブの高い分野とすることが重要であると考えております。

最後に、医学教育の基本的思想は、個々の人間と社会への奉仕精神（Humanity）とそのためのツールとしての技術（Art）の涵養であり、その技術は裏づけとなる知識体系（Science）に基づくものであります。私は、この「Science、

法 人

Art, Humanity」を具現化できる人材を育成することが、本学の建学の精神である「慈仁心鏡」の実践であると確信いたしております。

今後は、新たな気持ちで教育・診療・研究に誠心誠意努力し、外科学講座ならびに関西医科大学の発展のため最善を尽くす所存でございます。皆様方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般新規入職者176名

配属部署で入職式挙行

一般職新規入職者176名(看護職155名、医療技術職14名、事務職6名、教務職1名)を対象として3月24日からの入職前研修を経て、4月1日各配属部署において、入職式が挙行されました。

平成20年度新規入職者数は、次のとおりです。

理学療法士	1名	診療放射線技師	4名
医療ソーシャルワーカー	1名	作業療法士	2名
臨床工学技士	1名	薬剤師	6名
教務技師	1名	事務員	5名
助産師	5名	看護師	150名

なお、看護職の採用内定者の国家試験合格率は、98.5%(全国90.3%)でした。

附属枚方病院

附属枚方病院では、13階講堂において、3回目となる入職式が挙行されました。今年度は合計106名の新入職者を迎えることになりました。医師を除く一般職の入職者は以下のとおりです。

診療放射線技師	2名	理学療法士	1名
作業療法士	2名	薬剤師	5名
助産師	5名	看護師	88名
事務員	2名		
医療ソーシャルワーカー	1名		

附属滝井病院

附属滝井病院では、6階臨床講堂において一般職員入職式が挙行されました。今年度の入職者は、以下のとおりです。

診療放射線技師	2名	薬剤師	1名
臨床工学技士	1名	看護師	55名

附属男山病院

附属男山病院では、会議室において今年度の新規入職者・看護師7名の入職式が挙行され、そろっての記念撮影も行われました。また、開式前には、新宮 興病院長の就任挨拶がありました。

大 学

教務部長など平成20年度の新体制決まる

1月22日の大学院医学研究科委員会で大学院教務部長に木梨達雄教授が選出され、2月12日の同委員会、専門部教授会、臨床系専門部教授会において、専門部教務部長など各種役職者改選投票の結果、下記のとおり選出され、平成20年度新体制が決まりました。

任期は、いずれも平成20年4月1日から平成22年3月31日までの2年間です。

専門部教授会

・専門部教務部長	新任	藺田精昭	教授
・専門部学生部長	新任	山田久夫	教授
・ブレインメディカル リサーチセンター長	再任	伊藤誠二	教授

・ブレインメディカル
リサーチセンター

副センター長 再任 日下博文 教授

大学院医学研究科委員会

・大学院教務部長	新任	木梨達雄	教授
・附属生命医学研究所長	再任	木梨達雄	教授
・総合研究施設長	新任	中邨智之	教授

臨床系専門部教授会

・学 医 再任 岡崎和一 教授

平成20年度クラスアドバイザー

第1学年(A)	楠本 邦子	講 師
第1学年(B)	中川 淳	教 授
第2学年	中村 加枝	教 授
〃	松崎 竜一	助 教
第3学年	松田 博子	教 授
〃	武藤 恵	助 教

第4学年	岡崎 和一	教 授
〃	關 壽人	教 授
第5学年	飯田 寛和	教 授
〃	兒島 新	講 師
第6学年	松田 公志	教 授
〃	木下 秀文	准教授

学 事



南館臨床講堂でのオリエンテーション風景

新入生オリエンテーション実施

平成20年度新入生のオリエンテーションが、4月7日から10日までの4日間で実施されました。7日～8日は教養部、9日～10日は専門部で開催され、これから医学生として6年間の学生生活を送る上での様々な内容のオリエンテーションとなりました。概略は次のとおりです。

教養部

4月7日(月)

牧野キャンパス紹介、学生生活全般について、クラスアドバイザー、1学年カリキュラム、生物物理クラス、事務室・図書館ガイダンスなど

4月8日(火)

生物学・分子生物学実験、情報処理実習、物理学実験、化学実験、心理学セミナー、経済学セミナー、健康スポーツ医学など

専門部

4月9日(水)

本学のカリキュラム、学生健康管理室・学生相談室の案内、講演「脳神経外科の現状と未来」「心臓ERとは」

4月10日(木)

講演「記憶と脳」「くすりに飲まれないために」、附属枚方病院紹介DVD上映
昼食後、自学自習室、チュートリアルルーム、図書室、総合研究施設等を見学

盛大に新入生歓迎会



平成20年4月11日(金)午後6時から守口ロイヤルパインズホテルで新入生歓迎会が開催されました。新入生103名、

在校生44名、教職員25名の合計172名が参加し、盛大に行われました。

有田清三郎教養部学生部長の開会の挨拶ではじまり、山下敏夫学長、山田久夫専門部学生部長の歓迎の言葉、続いて吉本康明教養部主事の乾杯、にぎやかに軽音楽部の演奏、そして学生自治会代表及び新1学年クラス代表の挨拶があり、古賀愛人教養部教務部長の閉会挨拶で歓迎会は終了しました。

第102回医師国家試験結果

平成20年2月16日(土)から3日間行われた第102回医師国家試験の結果が3月28日(金)に発表されました。

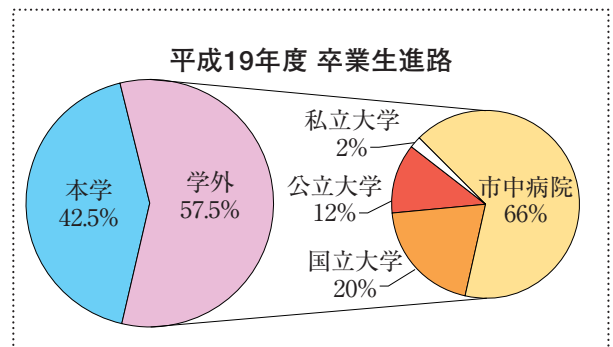
本学は、新卒受験生93名のうち88名が合格し合格率は94.6%でした。既卒者は15名のうち9名が合格。新卒者と既卒者を合わせると受験者数108名中97名が合格、合格率は89.8%で、私立医科大学29校中、第15位という結果でした。

	受験者数	合格者数	合格率(%)
新 卒	93	88	94.6
既 卒	15	9	60.0
合 計	108	97	89.8

(参考) 全国平均合格率90.6% 私立平均合格率89.3%

平成19年度卒業生進路

平成19年度卒業生の進路は、本学37名、学外50名(内訳:国立大学10名、公立大学6名、私立大学1名、市中病院33名)となっています。



名誉教授称号の授与

本学名誉教授称号授与規程に定めるところにより、教授会の議を経て、名誉教授称号が次のとおり4月1日付で授与されました。

- 第78号 上山泰男 前外科学講座担当教授
- 第79号 松村美代 前眼科学講座担当教授
- 第80号 豊 紘 前附属男山病院長

学 事

平成20年度(平成20年4月～平成21年3月)教務関係日程予定表

学 年						事 項	日 程	備 考
	2	3	4	5	6	1学期開講	4月7日(月)	◎2学年ガイダンス
					6	臨床実習	4月7日(月)～7月5日(土)	4月2日(水)
				5		臨床実習	4月7日(月)～2月27日(金)	◎3学年ガイダンス
1						前期開講	4月14日(月)	4月3日(木)
1	2	3	4			休講(5月連休)	4月29日(火)～5月6日(火)	◎4学年ガイダンス
				5	6	休講(5月連休)	5月5日(月)～5月9日(金)	4月1日(火)
	2					試験期間	7月7日(月)～7月11日(金)	◎5学年ガイダンス
		3				試験期間	7月7日(月)～7月18日(金)	4月1日(火)
	2					1学期終講	7月11日(金)	◎6学年ガイダンス
			4			試験期間	7月14日(月)～7月18日(金)	4月2日(水)
	2					夏季休業開始	7月14日(月)	◎入学式
		3	4			1学期終講	7月18日(金)	4月4日(金)
1						講義終了	7月18日(金)	◎新入生オリエンテーション(教養部)
					6	Advanced OSCE	7月19日(土)	4月7日(月)～4月8日(火)
					6	1学期終講	7月19日(土)	◎新入生オリエンテーション(専門部)
1		3	4		6	夏季休業開始	7月22日(火)	4月9日(水)～4月10日(木)
				5		1学期終講	7月25日(金)	行事その他による休講日
				5		夏季休業開始	7月28日(月)	◎1学年合宿研修
	2	3	4	5		夏季休業終了	8月22日(金)	5月7日(水)～5月9日(金)
	2	3	4	5		2学期開講	8月25日(月)	
1					6	夏季休業終了	8月30日(土)	◎解剖体追悼法要
					6	2学期開講	9月1日(月)	5月15日(木)
1						講義再開	9月1日(月)	◎2学年学生定期健康診断日
					6	卒業試験	9月1日(月)～11月11日(火)	5月21日(水)
1						前期終講	9月16日(火)	◎3・5学年学生定期健康診断日
1						前期試験	9月17日(水)～9月26日(金)	5月22日(木)
1						後期開講	9月29日(月)	◎4・6学年学生定期健康診断日
			4			試験期間	10月27日(月)～10月30日(木)	5月23日(金)
					6	総合試験	11月12日(水)～11月14日(金)	◎創立記念日
					6	2学期終講	11月14日(金)	6月30日(月)
					6	冬季休業開始(以降自習期間)	11月17日(月)	◎大学祭
			4			試験期間	12月15日(月)～12月19日(金)	10月31日(金)～11月2日(日)
	2		4			2学期終講	12月19日(金)	◎卒業式
		3		5		2学期終講	12月20日(土)	平成21年3月4日(水)
1						講義終了	12月22日(月)	
	2	3	4	5		冬季休業開始	12月22日(月)	
1						冬季休業開始	12月24日(水)	
1	2	3	4	5		冬季休業終了	平成21年1月3日(土)	
	2	3	4	5		3学期開講	1月5日(月)	注)休講日及び休業期間においても
1						講義再開	1月5日(月)	試験・授業等を行うことがある
1						後期終講	1月23日(金)	ので、注意すること
1						後期試験	1月26日(月)～2月3日(火)	
		3				試験期間	1月26日(月)～2月13日(金)	
			4			CBT共用試験	2月12日(木)～2月13日(金)	
	2					試験期間	2月16日(月)～3月13日(金)	
		3				分属実習	2月16日(月)～3月13日(金)	
1						再試験	3月2日(月)～3月7日(土)	
			4			OSCE	3月7日(土)	
			4			3学期終講	3月7日(土)	
				5		クリニカル・クラークシップ総合試験	3月11日(水)	
				5		3学期終講	3月11日(水)	
	2	3				3学期終講	3月13日(金)	

学 事

平成20年度科学研究費補助金交付内定者一覧(文部科学省・日本学術振興会)

平成20年度科学研究費補助金は、75件・総額182,925千円の交付が内定しました。なお、昨年度は61件・総額158,300千円でした。詳しくは、下表のとおりです。単位：円

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
特定領域 研究 新規	分子遺伝学 部門	片桐 晃子	准教授	癌抑制遺伝子RAPLとその下流標的分子Mst1による増殖及び発癌抑制機構	6,000,000	0
	生理学第二	中村 加枝	教授	ドーパミン系とセロトニン系における報酬・コスト情報の統合	2,900,000	0
	医化学	伊藤 誠二	教授	神経可塑性に伴うNMDA受容体複合体の再編成と活性化に關与する機能分子の探索	4,000,000	0
	薬理学	中邨 智之	教授	弾性線維の形成と老化におけるDANCE/fibulin-5の役割	3,700,000	0
	分子遺伝学 部門	片貝 智哉	講師	二次リンパ器官ストローム細胞による免疫支持場の構築メカニズム	2,000,000	0
	分子遺伝学 部門	木梨 達雄	教授	Rap1シグナルによるリンパ球動態の制御機構	5,000,000	0
基盤研究(S) 継続	医化学	伊藤 誠二	教授	神経可塑性モデルとしての神経因性疼痛の発症・認識機構の体系的な研究	13,000,000	3,900,000
基盤研究(B) 継続	救急医学科	中谷 壽男	教授	急性期脊髄損傷に対する培養自家骨髄間質細胞移植による脊髄再生治療	4,000,000	1,200,000
	放射線科学	播磨 洋子	准教授	分子生物学的手法を用いた子宮頸癌の放射線治療効果予測因子の探索と検証	4,800,000	1,440,000
基盤研究(B) 新規	生理学第二	中村 加枝	教授	セロトニン・アセチルコリン・ドーパミンネットワークによる報酬・嫌悪情報処理機構	3,500,000	1,050,000
	薬理学	中邨 智之	教授	弾性線維形成の分子機構の研究	5,600,000	1,680,000
基盤研究(C) 継続	脳神経外科学	稲垣 隆介	講師	神経板の発達における遺伝子発現に関する検討-特に外胚葉・中胚葉との関連について-	200,000	60,000
	法医学	吉田 学	准教授	新液-液抽出法と組合せたデュアルカラムHPLCの開発と分析ルーチンの確立	500,000	150,000
	耳鼻咽喉科学	岩井 大	准教授	骨髄移植および並体結合を用いた老人性難聴予防機序の検討	700,000	210,000
	解剖学第一	森 徹自	講師	成獣終脳皮質に存在する前駆細胞の分化とその分子機構の解析	1,300,000	390,000
	生理学第二	久寶 真一	准教授	小脳変性症に対するリハビリテーション効果の分子機構解明	1,000,000	300,000
	内科学第二	木村 稔	准教授	末梢血流動態から見た各種病態における運動耐容能および運動療法効果の検討	500,000	150,000
	分子遺伝学 部門	片桐 晃子	准教授	RAPL-Mst1シグナルによる細胞極性制御の分子機構	1,700,000	510,000
	解剖学第一	山田 久夫	教授	サテライトグリアと神経前駆細胞	1,600,000	480,000
	生体情報部門	松田 達志	准教授	PI3K-p38MAPK経路による樹状細胞機能の制御機構	1,500,000	450,000
	大学情報センター(解一)	渡辺 淳	准教授	標準化と地域医療への活用を目指した波形伝送・交換プロトコルの検証	1,500,000	450,000
	臨床検査医学	榊田 緑	講師	マクロファージの活性化を指標とした動脈硬化症における不安定プラーク検出法の開発	1,600,000	480,000
	内科学第二	大谷 肇	准教授	心筋再灌流障害におけるジストロフィンの役割に関する研究	2,300,000	690,000
	衛生学	藪田 精昭	教授	ヒト未分化CD34抗原陰性造血幹細胞の特性解明と再生医療への応用	1,600,000	480,000
	放射線科学	澤田 敏	教授	経皮的生体内管腔臓器バイパス術の開発	2,200,000	660,000
	病理学第二	螺良 愛郎	教授	経産による乳癌抑制に關わる乳腺間質の役割とその分子基盤の解明	900,000	270,000
	病理学第二	松岡 洋一郎	准教授	未産・経産ラット乳腺のDNAメチル化状態の網羅的比較による乳癌予防標的の検索	900,000	270,000
	外科学	中根 恭司	教授	噴門側胃切除後の残胃運動機能に関する臨床研究	600,000	180,000
	麻醉科学	中尾 慎一	准教授	急性脳虚血における白質病変の重要性と治療に関する研究	1,600,000	480,000
	泌尿器科学	松田 公志	教授	泌尿器腹腔鏡手術における技術評価方法に関する研究	300,000	90,000
	外科学	浜田 吉則	准教授	一酸化窒素の産生誘導を指標とした小腸移植における腸管適応促進剤のスクリーニング	1,200,000	360,000
	形成外科学	楠本 健司	教授	脂肪組織幹細胞から誘導した骨による3次元形状骨の形成に関する研究	1,100,000	330,000
	医化学	松村 伸治	講師	神経因性疼痛に關する脊髄後角神経回路の神経可塑性発現機構における一酸化窒素の役割	1,100,000	330,000
	基盤研究(C) 新規	物理学	木原 裕	教授	主にベータ構造からなる3種のSH3蛋白質の動的構造と構造変換	2,000,000
薬理学		服部 尚樹	准教授	免疫系におけるプロラクチンN端16Kフラグメントの生理的、病的役割の解明	1,200,000	360,000
病理学第一		稲葉 宗夫	准教授	並体結合マウスを用いた骨髄内骨髄移植の有効性の検証	2,000,000	600,000
公衆衛生学		三宅 眞理	助教	介護の軽減を目的とした認知症ケアに関する研究	2,500,000	750,000

学 事

単位:円

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	臨床検査医学	高橋 伯夫	教授	内因性ジグタリスの構造解析とその電解質・血圧調節に占める役割の解明	1,700,000	510,000
	内科学第三	岡崎 和一	教授	自己免疫性膵炎および硬化性胆管炎における発症機序と進展に関する免疫学的研究	1,500,000	450,000
	総合診療科 (二内)	小崎 篤志	講師	血中S100A12タンパク質の動脈硬化および心血管イベントへの関与に関する研究	1,100,000	330,000
	神経内科学	中野 智	講師	封入体筋炎における動的糖鎖付加の研究	1,500,000	450,000
	衛生学	佐々木 豊	講師	骨髄内直接移植法を用いた新規マウス造血幹細胞の同定とその幹細胞特性の解明	1,600,000	480,000
	外科学	権 雅憲	教授	ファイブロネクチンを用いた多剤耐性緑膿菌制御の検討	1,400,000	420,000
	解剖学第一	若林 毅俊	講師	血管付き神経移植による視神経再生促進作用の解析	1,300,000	390,000
	眼科学	緒方奈保子	准教授	糖尿病網膜症の発症、進展における全身因子、眼局所因子の関連機序の解明	2,000,000	600,000
	放射線科学	谷川 昇	講師	難治性疼痛を有する脊椎圧迫骨折に対する椎体形成術の除痛機序の実験的解明	1,100,000	330,000
	医化学	芦高恵美子	講師	神経ペプチドノスタチン結合タンパク質による疼痛制御	1,900,000	570,000
	心療内科学	阿部 哲也	講師	慢性疼痛の診断・治療指標候補の一酸化窒素の神経可塑性変化における活性化機構	1,800,000	540,000
	医化学	畝崎佐和子	助教	蛍光発色マウスを用いる神経因性疼痛モデルにおける神経再生機構の解明	1,100,000	330,000
	医化学	大西 隆之	助教	神経因性疼痛におけるPACAPの分子機構の解明	1,100,000	330,000
	医化学	片野 泰代	助教	神経因性疼痛発現維持機構の解明を目的としたプロテオミクス研究	1,100,000	330,000
萌芽研究 継続	分子遺伝学 部門	木梨 達雄	教授	インテグリン接着制御分子欠損による発癌モデルの樹立	1,600,000	0
	ドイツ語	菅谷 泰行	准教授	高齢者コミュニケーション評価法開発のための老年言語学的参与観察研究と大規模調査	2,300,000	0
萌芽研究 新規	薬理学	中邨 智之	教授	弾性線維の再生の研究	1,700,000	0
若手研究(A) 新規	分子遺伝学 部門	片貝 智哉	講師	二次リンパ器官ストローマ細胞ネットワークの構築と免疫・生理学的機能解析	10,300,000	3,090,000
若手研究(B) 継続	内科学第二	長谷川 隆正	助教	自家末梢血単核球細胞移植を用いた糖尿病性末梢神経障害および足病変への治療	1,100,000	330,000
	放射線科学	米虫 敦	助教	血管内皮カドヘリンを介したタイトジャンクション制御によるナノDDSの創製	700,000	210,000
	放射線科学	小島 博之	助教	生体吸収性高分子化合物を用いた肺癒修復剤の開発	500,000	150,000
	生理学第二	中尾 和子	助教	小脳損傷後の運動機能低下に対する改善方法の探索	600,000	180,000
	内科学第二	宮坂 陽子	助教	左室拡張能と炎症反応性蛋白による心房細動、脳梗塞の予測と予後に関する検討	100,000	30,000
	放射線科学	上埜 泰寛	助教	息止め撮影によるFDG-PET画質向上の基礎的検討:呼吸同期撮影との比較	1,200,000	360,000
	胸部心臓血管 外科学	金田 浩由紀	助教	再生医療的アプローチによる肺移植後虚血再還流障害の予防	800,000	240,000
	病理学第二	垪 貴司	講師	乳癌初期病変におけるホルモン受容体と細胞周期関連因子へのエストロゲンの作用	700,000	210,000
	脳神経外科学	木下 学	助教	超音波sonoporation効果を用いた新規脳白質線維の画像化法の開発	1,300,000	390,000
	麻酔科学	上村 幸子	助教	脳虚血障害により誘導される神経新生・再生メカニズムの解析	600,000	180,000
	形成外科学	竹本 剛司	助教	家兎肋軟骨を用いた移植肋軟骨の彎曲変形に関する実験的研究	1,000,000	300,000
若手研究 (B)新規	神経内科学	和手 麗香	助教	前頭側頭型認知症ホルモン固定標本における封入体の切離および構成蛋白の解析	2,000,000	600,000
	生理学第一	林 美樹夫	助教	膵臓導管細胞に機能発現する内向き整流性KチャネルのKイオン依存性活性化機構	2,400,000	720,000
	内科学第三	福井 寿朗	助教	TGF- β シグナル伝達とリンパ球分化、胃粘膜免疫応答、発癌メカニズムの関連解析	1,300,000	390,000
	皮膚科学	山崎 文和	助教	悪性黒色腫モデルマウスを用いた癌遺伝子変異解析、ISH法によるmRNA解析	1,800,000	540,000
	精神神経科学	分野 正貴	助教	うつ病に対する薬物感受性遺伝子を考慮したSSRIとSNRIの無行為比較試験研究	2,000,000	600,000
	放射線科学	前原 さおり	助教	骨腫瘍に対する椎体形成術と放射線治療の併用時に骨セメントが線量分布に与える影響	900,000	270,000
	病理学第二	上原 範久	講師	アセチル化修飾による細胞周期制御の分子機構と乳癌抑制に向けた新規標的分子の探索	2,000,000	600,000
	耳鼻咽喉科学	河本 光平	助教	遺伝子導入による蝸牛有毛細胞の再生とシナプス形成	900,000	270,000
若手研究 (スタートアップ)	生物学	今井 圭子	助教	シアノバクテリア時計蛋白質KaiCの分解に関与するプロテアーゼの同定及び解析	1,350,000	405,000

学 事

研究種目	内定件数	交付内定額(直接経費)	交付内定額(間接経費)
特定領域研究	6	23,600,000	0
基盤研究(S)	1	13,000,000	3,900,000
基盤研究(B)	4	17,900,000	5,370,000
基盤研究(C)	40	53,800,000	16,140,000
萌芽研究	3	5,600,000	0
若手研究(A)	1	10,300,000	3,090,000
若手研究(B)	19	21,900,000	6,570,000
若手研究(スタートアップ)	1	1,350,000	405,000
合計	75	147,450,000	35,475,000

受 賞

薬理学講座 中邨教授

ゴールド・メダル賞を受賞

「東京テクノフォーラム21」が優れた業績を上げた新進研究者に贈る「ゴールド・メダル賞」を中邨智之教授（薬理学講座）が受賞されました。授賞式は、4月16日に東京都内で開かれ、賞状とメダル、副賞が手渡されました。

受賞テーマは、「弾性線維の形成と再生の分子機構の解明」。研究内容は4月30日の読売新聞朝刊に掲載されました。



大阪対ガン協会

3人に研究助成奨励金

病理学第二講座の冨貴司講師と上原範久助教、放射線科学講座の野村基雄大学院生の3人が、大阪対ガン協会から平成19年度ガン研究助成奨励金を贈呈され、その贈呈式が3月12日、大阪市北区の朝日新聞ビル会議室で開かれました。

研究助成奨励金は、府内の大学や医療現場でがん征圧に取り組んでいる40歳未満の研究者や医療従事者に贈られるもので、48回目の今回は、府内で38名に贈呈されました。

学園都市ひらかた推進協議会報告
学長出席、本学に高い評価

第9回学園都市ひらかた推進協議会（会長・枚方市長）が2月19日午前10時から大阪歯科大学樟葉学舎で開催されました。同会は、枚方に位置する6大学（関西外大、大阪歯科大、摂南大学、大阪国際大学、大阪工大、関西医大）の学長又は代表者が委員となり、学園都市ひらかたの実現に向け、調査・研究及び調整を図ることを目的として通常、年1回開催されているもので、本学からは、山下敏夫学長が出席されました。

当日は、枚方市役所の担当者から19年度事業報告等が報告された後、活発な意見交換がありました。本学も平成18年度に附属枚方病院で実施した「子ども大学探検隊」や、平成19年度には本学講師3名（池原進教授、古川昌幸准教授、山田晴彦講師）による講演「前期コミュニティ・カレッジ」を開催したことに対し高い評価を受けました。これらの協力に感謝の言葉が述べられるとともに今後とも本学に支援の要請がありました。

病 院

附属枚方病院

ドクターカーを導入

3月26日に救急搬送に必要な医療機器を搭載したドクターカー＝写真＝が導入されました。現状の未熟児専用のドクターカーと患者搬送用の救急車の2台に加えて、病院として3台目の救急車両となります。

当院は災害拠点病院であり、本年2月1日には第3次救命救急センターとして認可されたことを受け、積極的な医療救護活動が求められることから、今後はこのドクターカーの活躍が期待されます。

救命救急センター認可される
24時間高度医療を提供

2月1日付で大阪府から救命救急センターとして認可されました。

これに伴い、今後は当院においても1次、2次の救急医療機関や救急患者の搬送機関との連携のもと、重症や複数の診療領域にわたるすべての重篤患者に対して、これまで以上に24時間体制による高度な救急医療を提供していくこととなります。

ドクターヘリによる
初の患者搬送
大阪府のドクターヘリ運営事業に参画

災害拠点病院として大阪府のドクターヘリ運営事業に参画、1月16日には運行シミュレーション訓練が行われましたが、2月14日（木）には早速、大阪府下の産院から、運用開始後初めてとなる子宮外妊娠の妊婦患者の緊急搬送がありました。

連絡を受けてわずか20分後にはヘリが到着、訓練どおり各部門の連携により、スムーズな搬送を行うことができま

した。その後患者さんは緊急手術の後、一命を取りとめ、退院されました。



ドクターヘリによる実際の患者搬送

院内ボランティア活動スタート

ボランティア委員会（委員長：リハビリ科・吉田清和部長）により、院内のボランティア活動について検討を重ねてきましたが、昨年12月1日から募集を開始し、多くのボランティアの方々に登録いただきました。（4月末現在で13名）

現在の活動内容は入院患者さんの病棟への案内や、やすらぎ文庫での図書の整理などをお願いしておりますが、今後は活動範囲を広げていく予定にしております。ユニフォームとしてピンクのエプロンをご着用いただいております。

韓国 圓光（ウォングァン）大学校
医科大学病院の30名が見学

2月19日に韓国 圓光（ウォングァン）大学校医科大学病院から医師、看護師、技師など約30名の皆さんが来日され、病院の見学会が実施されました。

泌尿器科松田公志部長を通じて申し入れがあり、日韓交流のためにこれを受け実現したものです。当日は今村洋二病院長の歓迎挨拶のあと、2グループに分かれて院内の各部門の見学が行われました。



見学後、病院をバックに記念撮影

病 院

附属滝井病院

**市民が心肺蘇生術をうけ
無事に社会復帰
役立つ定時講習会に参加しよう**

2月14日に京阪京橋駅付近タクシー乗り場で心肺停止となり、高度救命救急センターに搬送された女性（76歳）は、その後の治療の甲斐があつて無事社会復帰されました。たまたま現場に居合わせたOMMメディカルセンターの看護師さんがその場で救急蘇生を実施されたことが功を奏したようです。

なお、同じ日に高度救命救急センターに搬送された別の患者さまも、さらに2月24日に搬送された患者さまも社会復帰できる状況になりました。いずれも、迅速な心肺蘇生、AED（自動体外式除細動器）の活用、救急隊、救命救急センター、CCUの連携が奏功したものです。

当院では心肺蘇生法普及委員会により、職員、学生、看護学生に対し定時講習会を開催し心肺蘇生法の普及を図っています。心肺蘇生法普及委員会の活動や講習会開催状況はホームページでご覧いただけます。

<http://www3.kmu.ac.jp/ecc/BLS/Index.html>

副病院長に關・高田両部長

副病院長が4月1日付で下記のとおり任命されました。

- 副病院長 關 壽人（消化器肝臓内科）
- 副病院長 高田 秀穂（外科）

附属男山病院

**「新型インフルエンザ」模擬訓練
保健所と合同で実施**

京都府山城北保健所からの要請を受けて、3月14日に新型インフルエンザ合同模擬訓練を実施しました。保健所との合同訓練は、平成15年から18年までは「SARS」対応でしたが、昨年から「新型インフルエンザ」対応として毎年実施しています。

昨年は、ステージが「フェーズ3」でしたが、今年は、「フェーズ4」の想定で行われました。まだまだ課題山積の状況ですが、保健所からは「継続して実施するので、引き続き協力をお願いしたい」との要請がありました。

看護師が消火器操法訓練

3月27日に平成20年度入職予定者の看護師7名を中心に、消火器操法訓練を実施しました。あわせて、院内各所の消防・防火設備の設置状況や機能を説明し、消防に対する啓蒙活動を行いました。



消火器の取扱い方法を熱心に聴く新入生

市民公開講座 各附属病院で盛況

附属枚方病院

日時：平成20年4月19日（土）
午後2時～4時30分
場所：13階講堂及び合同カンファレンスルーム
演題：
・膝の痛み
整形外科・大野博史助教
・こわい脳卒中－その治療と予防
脳神経外科・浅井昭雄教授
高齢者を中心に282名が受講。
熱心な質問があり予定を30分も超過。

附属滝井病院

日時：平成20年2月2日（土）
午後2時～4時30分
場所：本館C棟6階臨床講堂
演題：
・身近にある認知症の早期発見
精神神経科・木下利彦教授
・男女ともにみられる尿もれ、頻尿
泌尿器科・室田卓之講師
受講者数 79名

附属男山病院

日時：平成20年1月19日（土）
午後2時～4時10分
場所：八幡市立生涯学習センター
演題：
・認知症について
脳神経外科・稲垣隆介講師
・増えている前立腺がん
前泌尿器科・藤田一郎部長
受講者数 216名

医療安全管理センター

附属3病院の医療安全向上を目指して

説明同意文書の標準化、相互ラウンドに取り組む

医療安全管理センターは、附属3病院で発生した医療事故の情報共有をはじめ、相互連携を通じて本学全体の医療安全向上を図る目的で、平成18年10月に設立されました。本センターは、神崎秀陽現センター長（医療安全担当理事）以下、外部識者も含め19名で構成されています。

現在は、説明同意文書の標準化に取り組む他、2月に附

属3病院医療安全相互ラウンドを実施しました。ラウンド結果はおおむね良好でしたが、指針やマニュアルの職員への周知徹底、中途採用者や異動者への教育の強化、個人情報保護対策の強化、などの改善事項が指摘され、各附属病院で対策が検討されています。

卒後臨床研修センター



医学生の様々な質問にも丁寧に答える臨床研修医

において、木下利彦卒後臨床研修センター長、今村洋二附属枚方病院長をはじめ多数の教授が出席して挙行され、修了証が授与されました。

なお、修了式終了後、同階のレストラン「のぞみ」で懇親会が催されました。

平成20年度研修医は51名

4月採用の平成20年度臨床研修医は、附属枚方病院43名（うち本学卒業生32名）、附属滝井病院8名（同7名）の合計51名を採用しました。

ちなみに昨年度は、附属枚方病院26名（うち本学卒業生17名）、附属滝井病院9名（同9名）の合計35名で、今年度は16名増えました。

レジナビフェア2008 in 大阪
ブースに多くの医学生

レジナビフェア2008 in 大阪「医学生のための臨床研修指定病院合同セミナー」が3月2日（日）、インテックス大阪で開催されました。卒後臨床研修センターでは、附属枚方病院・滝井病院の合同ブースを出展、木下利彦卒後臨床研修センター長、スタッフ3名に加え現役2年次臨床研修医の諏訪恵信さん、岩井愛子さんが参加しました。

レジナビフェアとは、医学生が将来、研修したい病院ブースを訪問し、プログラム・処遇などの情報を病院スタッフに直接聞くことができる、いわば会社説明会の臨床研修医版のようなものです。当日は、日本全国から医学生1000名近くが集まり当ブースへも途切れなく訪問がありました。いろいろな質問に研修医が熱心に生の声を伝え、PR活動を行いました。

なお、「レジナビフェア2008 in 大阪 医学生アンケート集計結果」が以下のホームページに掲載されています。興味のある方は、ご覧ください。

http://www.residentnavi.com/seminar/enquete_osaka2008.php

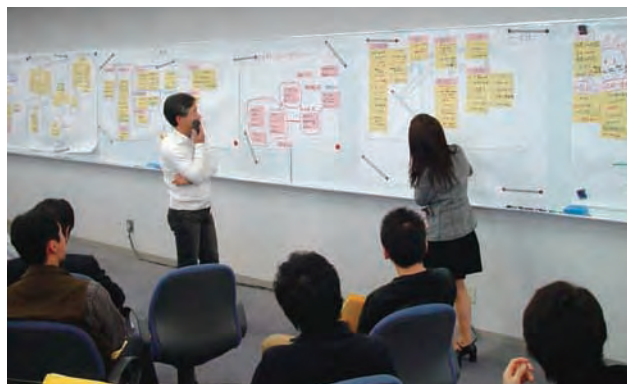
研修医46名が修了証を授与される

平成18年度採用の臨床研修医46名が、3月28日午後6時30分から附属枚方病院13階合同カンファレンスルーム

4月5日から一泊二日のワークショップ
様々な講習、親睦も深まる

毎年、臨床研修医採用時オリエンテーション期間中にワークショップを開催していますが、今年も学外講師として福井次矢聖路加国際病院長、コムル・辻本講師、元JAL勤務の接遇講師など招聘し、4月5日から6日の日程（一泊二日）で神戸市「スペースアルファ神戸」において実施されました。

講習会では、患者サービス、接遇、医療事故、人権問題、基本的な臨床能力、医の倫理、指導医と研修医の望ましい関係などの行程が組まれており、また夜には懇親会により親睦を深めるなど、臨床研修医には大変好評でした。



全体討議でのグループ発表

大学情報センター

学外プロ講師による講習会

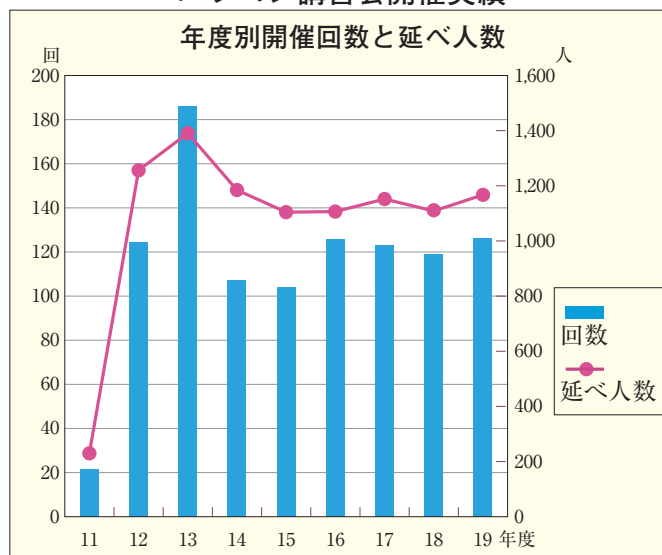
無料で受講できます
スキルアップしよう

大学情報センター学術部では、学生及び教職員を対象にして、毎年、定期的にパソコン講習会を開催しています。学外プロ講師（平成16年度から）による講習会と学術部（平成11年度から）による講習会は、年間開催数が100回を超え、年間参加延べ人数も1,000人を超える実績を残しています。無料で受講できるこの機会を活かしてスキルアップしましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

講習会の日程、内容、申込み状況については、次のURLにアクセスしてご覧ください。

<http://www3.kmu.ac.jp/uicamis/>

パソコン講習会開催実績



平成20年度パソコン講習会開催日程

講習内容	開催日	曜日・時間	場 所
Windows 基本操作	5月7日～5月9日	左記の水・木・金曜日 (祝祭日除く) 午後6時～8時30分	専門部学舎1号館 附属図書館内4階 医学情報処理室
Word 2003	5月14日～6月6日		
Excel 2003	6月11日～7月11日		
ホームページ作成	7月16日～7月18日		
PowerPoint 2003	7月23日～8月22日		
セキュリティ	8月27日～8月29日		
スキャナ	9月3日～9月5日		
Photoshop CS	9月10日～10月3日		
秋の講習会予定（学術部担当、10月中旬～来年3月まで開催） Windows Vista基本操作・Word 2007・Excel 2007・PowerPoint 2007・Photoshop CS・ スキャナ・ポスター作成・総合課題			

医療情報部からお知らせ

附属枚方病院 院内がん登録センターを立ち上げ

新香里病院の情報システム設計が当面の課題

大学情報センター医療情報部の当面の課題としては新香里病院の情報システム設計への取り組みです。ここが正念場！一生懸命頑張ります。附属枚方病院では、開院時からの懸案であったがん登録業務に対し規程及び運用を整備し、4月1日に院内がん登録センターを立ち上げま

した。附属滝井病院では3月11日に救命CTとPACSの接続作業を行い、併せてPACSのディスク装置の拡張作業を実施しました。また附属男山病院では4月1日付、医療情報室長が豊 紘前病院長から新宮 興病院長に変更となりました。

附属看護専門学校

附属看護専門学校入学式挙行 看護学以外の分野にも好奇の目を

本学附属看護専門学校平成20年度入学式が、4月8日(火)午前10時から同校において、塚原 勇理事長、山下敏夫学長、木下利彦附属看護専門学校長はじめ教職員、来賓、保護者多数の出席を得て挙行されました。



学校長告辞

ご入学おめでとうございます。桜も満開に開き、希望に胸をふくらませてわが看護専門学校の門をくぐられた皆さんの表情は、いきいきと輝いています。そのような皆さんをお迎えしたことは、またことに喜ばしいことでもあります。

また、保護者の皆様、来賓の皆様、お忙しいなか本校の入学式にご列席賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さんは、これからは関西医科大学の一員として、誇りと責任を持って新生活を送っていただきたいと思えます。関西医科大学は昭和3年に創立され今年の6月に、満80年を迎える大変歴史のある私立医科大学であります。その附属看護専門学校である本校は、昭和7年に附属看護婦養成所として開校しました。本校も非常に歴史のある学校であります。3年後には皆さんも栄えある関西医科大学のスタッフとして活躍していただくわけです。そのような意味におきまして、これからは、皆さん一人一人の努力が重要です。大きな目標に向かって一步一步歩んでいただきたいと思えます。

さて、近年医療を取り巻く環境は厳しさを増す一方であります。多様化するニーズに対応できる人材の育成が急務であります。我校では優秀な教育スタッフと最新の附属医療施設を持ち、高度な看護学を習得できる環境が充実しております。3年間はかなりハードになるでしょうが、国家試験の合格率は、ほぼ100%であり、あらゆることを貪欲に吸収し、3年後の達成感はまた格別なものになることでしょう。

さて、近代看護教育は、この向かって右の銅像にありますように、フローレンス・ナイチンゲールが1860年に聖トーマス病院内に看護学校を設立したのが最初であります。本邦では高木兼寛(たかぎかねひろ)が1885年に、東京慈恵会医科大学附属看護婦教育所を併設したのが最初であります。1868年に明治が始まっていますから、明治の初期で非常に歴史の古いものであります。

ナイチンゲールはよくご存知だと思いますが、クリミア戦争に従軍し、傷病兵の衛生改善に協力し、それがロンドン・タイムズなどのマスコミに大きく取り上げられることとなり、このことはナイチンゲールの思いとはかけ離れたものでありましたが、結果的にはナイチンゲール基金として、一般市民の寄付が45,000ポンドに達するようになり、聖トーマス病院内にナイチンゲール看護学校が設立されたのです。校長は他の方がなったのですが、運営に関してはナイチンゲール

平成20年度入学者名簿(第29期生)

A 組

B 組

インターネット上での氏名公開は控えさせていただきます

附属看護専門学校

も協力しました。その後、同様の各種養成学校がイギリス内に作られ、現在に近い看護婦養成体制が整い始めました。ナイチンゲールは非常な教養人であったようです。英語はもとより、フランス語、イタリア語、ギリシア語、ラテン語に通じ、哲学、数学、経済学、そして建築学も学んだようです。病院の設計も行っていました。ナイチンゲール病棟といわれますが、間仕切りなしの200畳ほどの広さの病棟で、ベッド一つに窓が一つ配置されるという構造で、非常に換気に気を配った構造であったようです。看護学にはじめて統計学を持ち込んだことでも有名です。さらに美術、音楽、心理学にも造詣が深かったようです。医師にも高い教養が必要ですが、看護師にも幅広い教養が必要なのです。看護学の基礎をみっちり勉強することは当然であります。それ以外の分野にも好奇の目を向け貪欲に吸収していただくことを希望して、本日のお祝いの挨拶に代えさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。



代表して挨拶する新入生

自然と親しみながら1・2年生交流深める 貝塚市の府立「少年自然の家」で校外研修

自然と親しみながら交友を深めよう。附属看護専門学校では、毎年恒例の校外研修が4月19日と20日の2日間（一泊二日）大阪府貝塚市の大阪府立「少年自然の家」で楽しくにぎやかに開催されました。

天候にも恵まれた校外研修には、29期生となる新入生86名全員と先輩である28期生88名の合わせて174名及び12名の教員、事務職員らが参加、お互いが交流を深める絶好の機会となりました。

「築こう深めよう ナースとしての自覚と愛情」をテーマとし、「みんなで騒ごう2008」をサブテーマに実施されました。看護学生として規律ある行動を身につけること、団体生活の中で協調性を育み、自分の役割や行動に責任を持つこと、1年生と2年生の交流を深め、1年生のこれからの学校生活の不安を少しでも軽減できるようにすることの3つの目的がほぼ果たせた有意義な校外研修となりました。

研修1日目は、入所式、記念撮影、オリエンテーション、スタンプ練習、野外炊飯、キャンドルファイヤーなど。2日目は、体育館での小運動会がメイン。ドッジボール・バレーボールをトーナメント形式で楽しみました。



バレーボールを楽しむ看護学生たち



1日目のキャンドルファイヤー

第97回看護師国家試験

合格率 98.7%

第97回看護師国家試験の合格発表が3月26日にあり、本学附属看護専門学校は78名が受験、77名が合格しました。合格率は98.7%（全国合格率90.3%）と非常に良い成績でした。

キャンパスニュース

学生健康管理室

心身ともに健康な学生生活を送るために がまんしないで早めに相談して

学生健康管理室は、大学事務局学部事務部の学務課に所属していましたが、昨年10月、大学事務局および附属滝井病院事務組織改編に伴い、大学事務局に健康管理センターが新設され、安全衛生管理室（滝井地区）とともに大学健康管理室としてその組織に組み込まれました。学生を対象とした健康管理室を正式機関として設置するだけでなく、労働安全衛生を巡る社会の動向や本学の拠点となる枚方地区への統合をふまえた組織編成の一環として将来的には滝井地区・枚方地区、学生と職員の労働安全衛生の一元的管理を目指しています。

- ・学生健康管理は、学医・健康管理医制がとられており（内科持ち回り）、現在は、消化器肝臓内科が担当されています。定期健康診断後の再・精密検査や経過観察、B型肝炎予防対策・結核予防対策の検査・ワクチン接種等は基本的に健康管理医が担当されますが、その他は、消化器肝臓内科全体で学生の健康管理を担当されています。
- ・学生健康管理室（担当）は、学医・健康管理医に相談しながら、また、学務課と連携し協力を得て取り組んでいます。学生健康管理室では、簡単な応急処置や、気分が悪くなったとき休養するベッド・自動血圧計・体

脂肪計等を置いています。また、悩み事や気分が晴れないときは一緒に解決の糸口を探していきたいと思っています。必要時、学生相談室への橋渡しも行っていますので気軽にお立ち寄りください。

学生の皆さんが心身ともに健康な学生生活を送ることができるように、その一助となるよう努力したいと思っています。しんどいのがまんしないで早めに、気軽にご利用ください。

4種小児感染症対策

昨年、全国で麻疹が猛威を振りました。本学では、麻疹を含む4種小児感染症（水痘・風疹・麻疹・ムンプス）対策として、学生の皆さんにワクチン接種を勧めています。皆さんは、実習等で病院の患者さまに直接に接する機会がたくさんあります。患者さまへの感染、患者さまからの感染を防ぐためにも必ずワクチンを受けましょう。

早期体験実習までにワクチン接種を

なお、20年度新入生からは、入学時健康診断時に抗体検査を実施、抗体価が(-) (±)のものについては7月の早期体験実習までにワクチン接種を終了し、証明書を提出することになっています。ご不明な点がありましたら学生健康管理室にお問い合わせください。

学生健康管理室

<場 所> 専門部学舎1号館5階(1号エレベータ横)
<連絡先> 内線2242(不在時は学務課へ)
※毎週月曜日は、教養部に出張しています。
(ただし、時期によっては不定期です)

学生相談室

悩み事、共に考えましょう 火曜と金曜、12～18時まで

木々の新緑や花々が目に鮮やかな季節になりました。植物にとって春を迎える前の冬は大切な季節です。人の心も良く似たところがあるように思います。冬のように感じる時は、心の成長に大切な時かもしれません。植物が自らの力と水や太陽、鳥などと共にあるように、学生相談室も本人の力を

信じ、共にあり、共に考える一助になりたいと思います。

山本和美(臨床心理士)

<開室日時> 火・金曜日 12～18時
<場 所> 附属滝井病院 南館2F 臨床講堂控室
<連絡先> soudan@takii.kmu.ac.jp
内線：2802
話の内容は秘密厳守いたします

教養部「有恒館」を閉鎖 昭和5年建築、77年経過し老朽化

教養部有恒館は、昭和5年10月建築後77年経過とともに、先般、耐震性能検査を実施したところ非常に危険であるとの評価を受けました。

同館は、これまで柔道部の活動施設として提供して来ましたが、先の検査結果をもとに安全面を優先するため平成20年3月31日をもって閉鎖に踏み切りました。長年、親しみご支援いただいた皆様方に深くお礼申し上げます。なお、柔道部は専門部学舎3号館の4階へ場所を移し、活動することになりました。



閉鎖になった有恒館

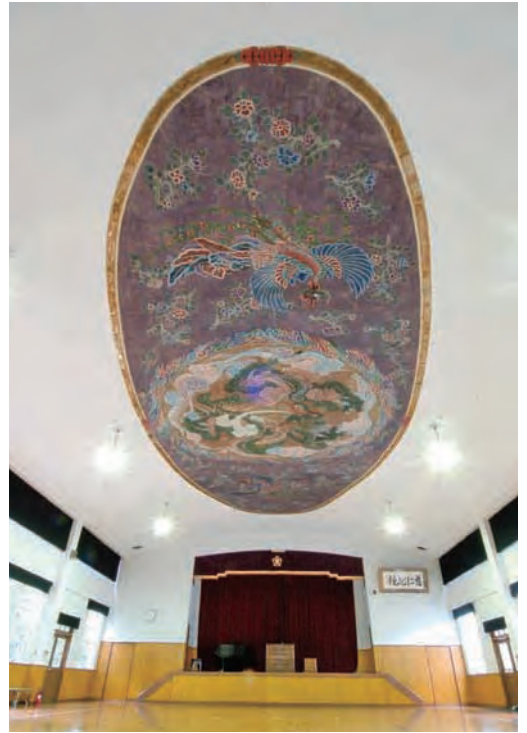
特集

龍馬2点、飛天、午未 教養部体育館に4壁画

教養部には、講堂の天井画「双龍鳳凰」の他にも、かつて周囲の子壁や天井を飾っていた数々の壁画が保管、展示されています。現在、体育館の4作品は、常に学生の目に触れることができます。龍馬2点、飛天、午未いずれも縦横約3mの大きなものです。

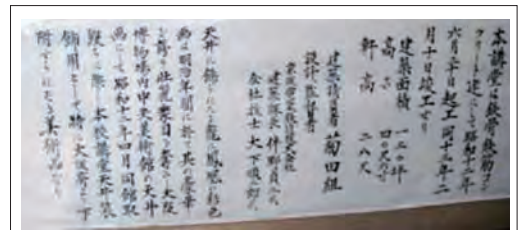
Photograph

天井画の中心部分



講堂の天井いっぱいに広がる「双龍鳳凰」

講堂控室に展示されている
府立博物館時代の天井画の古写真



〔写本文〕
天井に飾られたる龍に鳳凰の彩色画は明治年間に於て其の豪華を誇り仕麗衆目を奪いし大阪博物館内中央美術館の天井画にして昭和十二年同館取毀しに際し本校講堂天井裝飾用として特に大阪府より下附せられたる美術品なり

体育館2階、額に入れられ飾られている4つの壁画（昨年11月の学園祭の時に撮影）



龍馬、飛天、午未の図柄は、法隆寺献納「龍首水瓶」（東京国立博物館所蔵）、法隆寺金堂壁画飛天、正倉院「白石鎮子十二支」などの古代美術から対称模写されています。

岡 宗夫名誉教授、田口経子殿、大津千代殿、並びに同窓生有志により修復、寄贈され、1997年2月から体育館に展示されています。



龍馬(左)



飛天



龍馬(右)



午未

お知らせ

公益通報の学内受付窓口

学内に「意見箱」を設置しました

公益通報は、学内で法令・学内規程違反等の不適切な行為が生じ、或いは生じようとしている旨を通報して、不適切行為を改め、または未然に防ぐことを目的としています。通報の学内窓口は内部監査室が担当しています。公益通報の趣旨に添う建設的な制度活用をお願い致します。

公益通報・相談窓口

内部監査室室長(稲垣千代子)宛

[専門部学舎1号館5階]

電話:内線(81)2005, 外線06-6993-9695

e-mail: naibukan@takii.kmu.ac.jp

内部監査室事務部長(内藤 勉)宛

[附属枚方病院1階大学情報センター]

電話:内線(80)3080, 外線072-804-2744

学内意見箱(封筒に入れ内部監査室宛と明記して下さい。)

設置場所は次のとおりです。

専門部・大学事務局 専門部学舎1号館1階タイムレコーダー横

教養部 本館1階公衆電話横

附属看護専門学校 正面玄関事務室前

附属枚方病院 地下1階職員食堂前掲示板横

附属滝井病院 A棟1階治験相談室前

附属男山病院 職員食堂

今夏の省エネ推進活動

省エネルギー推進委員会/省エネルギー実行委員会

本格的に省エネルギーに取り組んで3年目の夏を迎えます。今夏は省エネに向けた統一行動日の設定などの新たな施策も加えて、6月1日から下記対策を実施します。ご理解と積極的な参加・行動をよろしく申し上げます。

1.クールビズの実施

男性はノーネクタイ、女性は夏季事務制服のベスト着用を自由とします。

2.「エコGメン」による巡回と「エアコンウォッチャー」の任命
室温は28℃。好事例は省エネ通信で紹介します。

3.サマー統一ノー残業デーの実施

省エネ効率を高めるため各施設で統一日を設けてノー残業デーを実施して下さい。

4.液晶温度計シールの追加配布

室温管理を徹底してもらうため温度計のない部屋に配布します。

「関西医科大学 広報」
年4回発行、80周年記念号も

原稿お寄せください

今回創刊したこの広報誌は、関西医科大学と教職員、学生、保護者、同窓生を結ぶコミュニケーションツールの一つです。年4回(5月・8月・11月・1月)季刊号として発行する予定です。今年は、創立80周年を迎えることから記念号を6月に発行します。

編集後記

新広報誌「関西医科大学 広報」創刊号をお届けいたします。“読まれる広報誌”を目指して模索しました。A4版のカラー刷り、写真をふんだんに取り入れ、より現代的でビジュアルな紙面にしたつもりです。読んで、見て楽しんで下さい。

内容は、大学の現状、将来構想など法人、大学からのメッセージ及び学事、病院、看護学校、同窓会のニュース、キャンパスライフ等さまざまな情報を掲載します。今回の創刊号は、教養部講堂の天井画、体育館の壁画を特集してみました。小生も大学事務局へ来て初めてこんな絵画が大学にあることを知りました。まだ、知らない人がいるかもしれない。そんな思いから、本学の歴史と伝統を再認識してもらうため、敢えて創刊号で扱ってみました。

この広報誌は、医学生・看護学生の保護者、同窓生の方々にも送付させていただきます。記事掲載の要望は、遠慮なく広報課へお知らせください。取材にも伺います。

広報課としても初の取り組みですが、皆様のご要望に応えられるような魅力ある紙面づくりを目指しておりますので、忌憚のないご意見やご要望をお寄せください。

また、従来の「学報」は学内情報誌として4月号からリニューアルしました。最新の法人情報をタイムリーに取り上げることは勿論、教授会ニュースを追加、法人・学事・人事マターをより詳細に、整理して掲載します。

(総務部広報課 M.N)

関西医科大学広報 創刊号

発行 学校法人 関西医科大学
編集 総務部 広報課

〒570-8506大阪府守口市文園町10-15

Tel 06-6992-1001 (内線) 2138

Fax 06-6993-5221

<http://www.kmu.ac.jp/index.html>

E-mail kmuinfo@takii.kmu.ac.jp

平成20年5月28日(水)発行